

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

980

姉妹都市交流事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	5	国際交流の推進
施策	1	国際交流の推進
取組方針	1	諸外国との交流の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		国際交流費	
	大事業		国際交流事業	
中事業		姉妹都市交流事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	国際交流課	磯部 典宏 435-1010
事業実施の根拠法令	無		関連課			

## 1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
事業目的	姉妹都市〔ベイクースフィールド市(アメリカ)、リッチモンド市(カナダ)、済州市(韓国)との国際親善、国際協力を目的とした交流事業		市民及び民間交流、青少年の国際親善交流を実施			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	ベイクースフィールド市姉妹都市提携55周年祝賀・リッチモンド市親善訪問団派遣、済州市親善訪問団来和、済州市和歌浦ベイマラソンwithジャズ参加訪問団来和、リッチモンド市公式訪問団来和	ベイクースフィールド市教育訪問団来和、リッチモンド市学生訪問団来和、リッチモンド市柔道訪問団来和、済州市姉妹都市提携30周年記念事業、済州市和歌浦ベイマラソンwithジャズ参加訪問団来和	ベイクースフィールド市教育訪問団来和、リッチモンド市姉妹都市提携45周年祝賀訪問団来和、リッチモンド市柔道訪問団来和、済州市和歌浦ベイマラソンwithジャズ参加訪問団来和	ベイクースフィールド市青少年交響楽団訪問団来和、リッチモンド市学生訪問団来和、済州市親善訪問団来和、済州市和歌浦ベイマラソンwithジャズ参加訪問団来和	ベイクースフィールド市教育訪問団来和、リッチモンド市柔道訪問団来和、済州市親善訪問団来和、済州市和歌浦ベイマラソンwithジャズ参加訪問団来和	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	22,590	10,290	13,122	4,669	10,051	2,978	13,514	0	13,514	0
伸び率(%)	34.8%	93.1%	△41.9%	△54.6%	△23.4%	△36.2%	34.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	8,187	8,425	8,296	8,535	9,031	8,552	7,513	0	7,513
	正規職員以外	2,171	2,171	2,023	2,023	1,415	1,354	1,979	0	1,979
	小計	10,358	10,596	10,319	10,558	10,446	9,906	9,492	0	9,492
国庫支出金	0	0	0	0	1,383	464	2,278	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	22,590	10,290	13,122	4,669	8,668	2,627	11,236	0	0	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	0	△113	0	0	13,514	0
所要人数(人)	正規職員	1.03	1.06	1.04	1.07	1.13	1.07	0.94	0.00	0.94
	正規職員以外	0.81	0.81	0.81	0.81	0.57	0.57	0.85	0.00	0.85
主な予算内訳	費用弁償1,178千円、外国出張旅費569千円、親善交際費4,624千円、自動車借上料1,914円等									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
青少年国際親善交流訪問派遣回数		回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1	1	
			達成度(%)	100%	100%	100%	100%	%
青少年国際親善交流訪問派遣人数		人	目標値	20	20	20	20	
			実績値	40	22	24	27	
			達成度(%)	200%	110%	120%	0%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	本市と姉妹都市提携を締結して、アメリカのバイカースフィールド市は56年、カナダのリッチモンド市は45年、韓国の済州市は30年と、それぞれ経過しています。この間、長期間にわたる積み重ねの上に、お互い良好な関係を築き育んできました。この関係をさらに将来へ引き継いでいく必要があるところから、一定の事業を継続して行う必要があります。
見直し・改善内容	姉妹都市への公式訪問を5年に一度の周年事業としていたが、今後は周年事業にとらわれず、文化やスポーツなどに特化した民間交流を促進し、実質的な交流の成果が期待できる新たな形の交流の取組を行う。